

近畿イニシアの活動10年と これからの課題

平成28年6月22日（水）

京都大学附属図書館利用支援課 井上恵美
（大学図書館近畿イニシアティブ運営委員）

- 大学図書館近畿イニチアティブについて
- 近畿イニシアの特徴
- 今後の能力開発について
『大学図書館職員の専門性と専門研修のあり方について
(報告書)』(平成27年12月)のご紹介



設立：平成17年6月21日

■ 能力開発事業が設立の動機

- 「能力開発」の用語を強く意識

■ 既存の組織・活動の再構築

- 国公立大学図書館協議会
- 大学コンソーシアム京都
- 地区ごとの初任者研修

■ 第1回の初任者研修

- 平17.12.8～12.9

76 現代の図書館 Vol.44 No.2 (2006)

特集 *Open* 大学図書館員の
能力開発とオープン化

大 埜 浩 一 *Open*

進むことが予想される。対応する手段として、特に私立大学が取り組んできた上記の手法を国立大学でもより積極的に採り入れつつある。また、国立大学では、法人化により組織を大学の裁量で再編成できることになったため、重点化

1. 最近の大学図書館の職員・組織の変化

大学図書館の職員・組織が大きく変化している。担当する正規職員が減少するとともに、かれらが

担
員
の
員

UDC 027.7 : 371.64(521.7).009.11 : 021.6 : 061.28 : 02

大学図書館近畿イニシアティブの立ち上げに参加して
—設置形態の枠を超えた交流—

杉山宗武*1, 石定泰典*2, 吉井良邦*3

2005年6月に近畿地区において、国立、公立、私立という大学設置形態の枠を超えた図書館の協力組織が立ち上げられた。協力組織の名称は「大学図書館近畿イニシアティブ」（略称「近畿イニシア」）であり、運営委員会のもとに2つの専門委員会を置いて活動を開始した。組織立ち上げの準備段階から初年度の事業である初任者研修（能力開発専門委員会担当）と広報検討活動（広報検討専門委員会担当）の展開に深く関わった筆者たちがこれまでの活動をレビューし、今後の事業展開についての展望を述べる。

キーワード：大学図書館近畿イニシアティブ、近畿イニシア、初任者研修、能力開発事業、大学図書館の地域での共同事業、広報活動、大学図書館員の能力開発、大学コンソーシアム京都、KIRALI

1. はじめに

1.1 設立準備会

平成17年6月2日の大阪大学附属図書館本館6階研修室は、ある種の熱気に包まれていた。近畿地区における国公立大学図書館の新たな協力組織を立ち上げるために、第2回「近畿地区大学図書館委員会（仮称）設立準備会」が開催され、それぞれの設置母体から選出された大学図書館の部課長等管理職が一堂に会して協力組織の設立の具体

事業の基本として能力開発事業を据えることとなった。また、近畿イニシアの活動を広めるために広報体制の確立を検討することも確認された。

近畿イニシアを構成する基本組織としては、近畿地区における国公立大学図書館協（議）会4団体¹⁾を母体とし、そこから選出された構成員からなる「運営委員会」が設置され、その下に「能力開発専門委員会」と「広報検討専門委員会」の2つの専門委員会が置かれることになった²⁾。



ロゴについて



- 平19 公募を行い運営委員会にて決定

Kinki **R**egional **A**cademic **L**ibraries **I**nitiative

コンセプト: 連携と協力

字体は「輝き」を連想させるデザイン、文字の背景は「本」を開いた様子を
図案化し、また「架け橋」「虹」をモチーフとしている。

運営要綱

(趣旨)

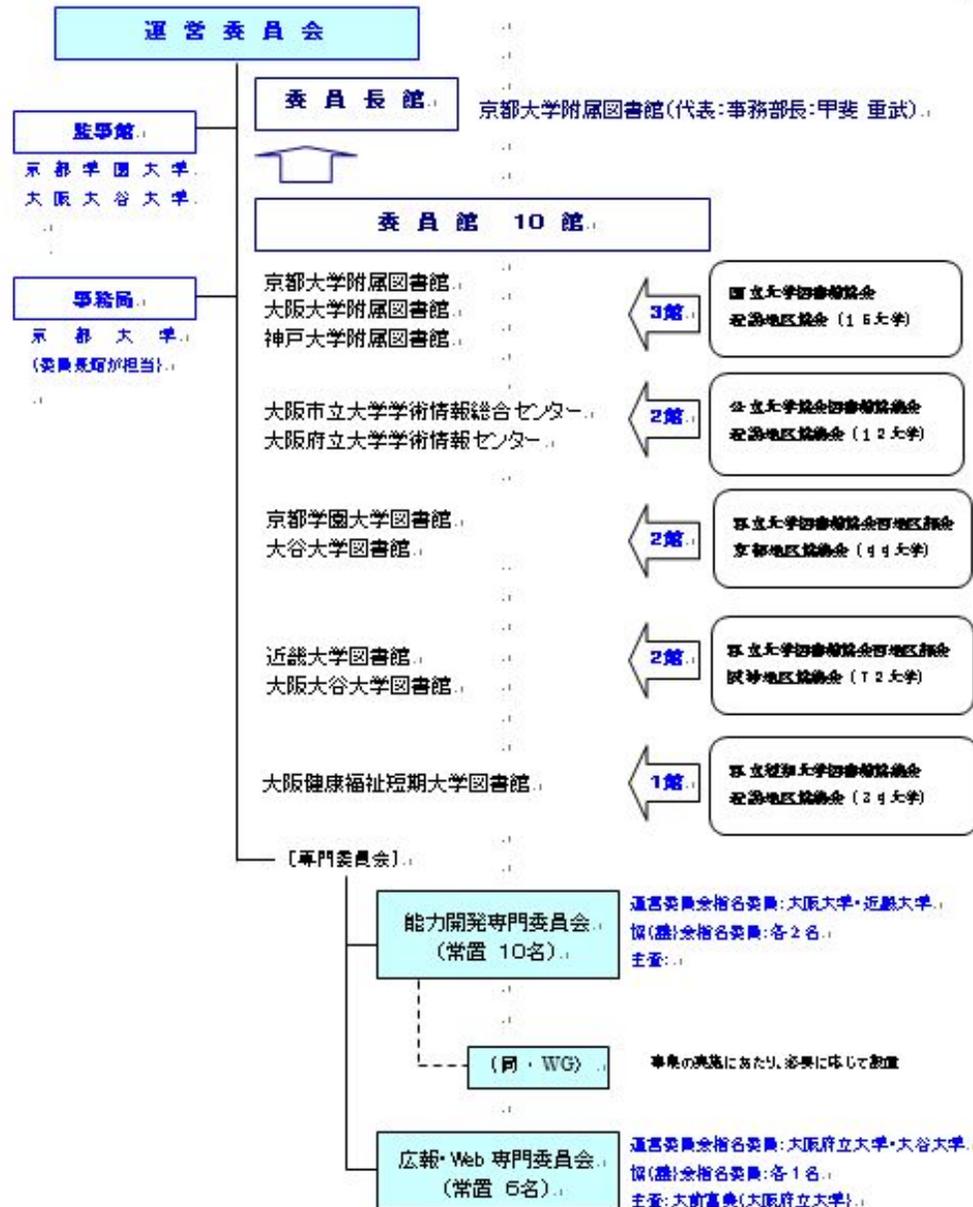
第1条

国立大学図書館協会近畿地区協会、公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会、私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会、同阪神地区協議会及び私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会は、近畿地区の大学図書館（大学共同利用機関等を含む、以下同じ）において、**国公私立の設置形態を超えて共同で実施することが適当な事業等を行うため**、近畿地区の大学図書館の連携・協力組織として、「大学図書館近畿イニシアティブ」（以下、「近畿イニシア」という。）を組織する。

「大学図書館近畿イニシアティブ」(近畿イニシア)組織構成図
 (平成27年6月1日～平成29年5月31日)



(平成 28 年 6 月 1 日現在)



各図書館
 協(議)会

- 平18 基礎・初任者研修
- 平19 中級研修(広報)
- 平20 基礎・初任者研修
- 平21 中級研修

以降、「基礎・初任者」と

「中級(テーマ別)」を隔年ごとに

- ホームページ上で教材・アンケート等の情報を公開



The screenshot shows two browser windows. The top window displays the KIRALI website's training information page, including a sidebar with navigation links and a main content area with training details. The bottom window shows a survey result page for the '平成26年度大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」アンケート調査結果'. It includes a summary of the survey (65 responses, 98% rate) and a pie chart showing the distribution of respondents by affiliation.

所属機関	人数(名)
国立大学	17
公立大学	5
私立大学	35
短期大学	4
その他	4
計	65

所属機関	人数(名)	割合
国立大学	17	26%
公立大学	5	8%
私立大学	35	54%
短期大学	4	6%
その他	4	6%

勤務年数	人数(名)
1年未満	14
1年以上7年未満	28



賛助会員：平成19年度～

■ 検討・了承(2年目：平成18年度)

- 運営委員会(平成18年度第3回、2007.2.28)
- 賛助会員募集を審議。運営要項に賛助会員条項追加を承認。

■ 募集開始(3年目：平成19年度)

- 平19 11社
- 平20 12社
- 平21 10社
- 平22～ 14社～16社
- 平28.6現在 15社

法人・団体(長期)	
26L-002 (会員有効期限:2016年5月30日) 株式会社キャリアパワー	
26L-003 (会員有効期限:2016年10月10日) システム	
法人・団体(一般)	
26L-004 (会員有効期限:2016年7月7日) ユサコ株式会社 SFX.F	
27L-001 (会員有効期限:2016年8月30日) 株式会社 日本ファイリング株式会社	
Gale V 27L-002 (会員有効期限:2016年11月23日) 株式会社 エルゼビア・ジャパン株式会社	
文献入 27L-003 (会員有効期限:2017年2月21日) 株式会社 ナカバヤシ株式会社 大阪支社 事業案内	
27L-004 (会員有効期限:2017年4月23日) 株式会社 株式会社紀伊屋書店 Kinoppy	
27L-005 (会員有効期限:2017年5月29日) 株式会社 EBSCO Information Services Japan 株式会社 PLUMX	
TRCオ 28G-003 (会員有効期限:2017年5月19日) 丸善雄松堂株式会社	



賛助会員とは

運営要綱

(賛助会員)

第8条 近畿イニシアに、賛助会員を設ける。

2 賛助会員は、近畿イニシアの活動に賛同する個人もしくは団体等で、会員になるにあたっては運営委員会の承認を得るものとする。

3 賛助会員は、運営委員会が別に定めるところにより近畿イニシアの活動や事業に参加することができる。

4 近畿イニシアは、必要に応じて賛助会員の周知を図る。

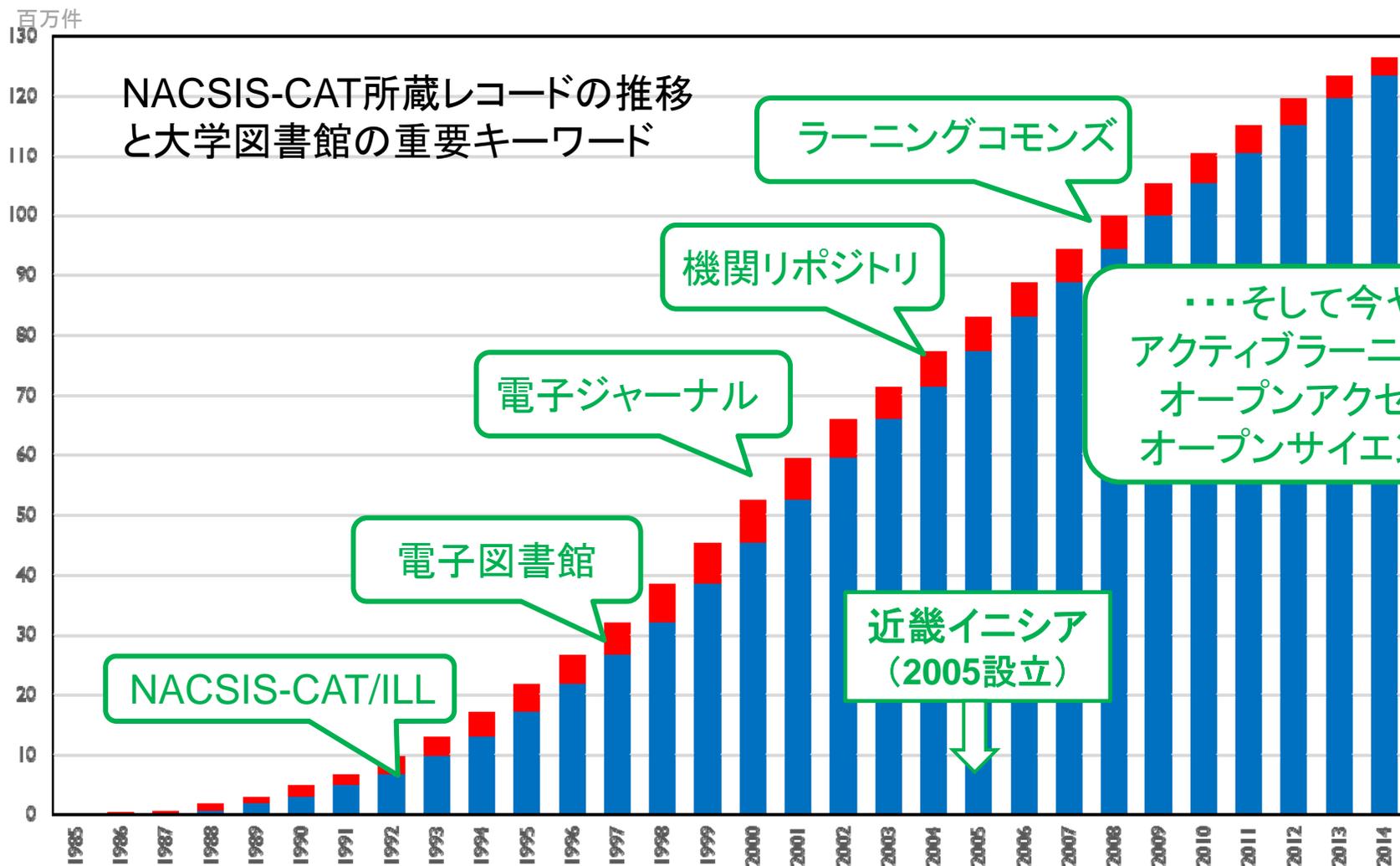
5 その他、賛助会員についての必要な事項は、運営委員会において別に定める。

(寄付)

第9条 近畿イニシアは、近畿イニシアの活動に賛同する個人もしくは団体等からの寄付を受けることができる。



大学図書館の過去30年間の枠組みの再構築 と近畿イニシア





大学図書館と国立情報学研究所との 連携・協力推進会議と近畿イニシア

■ JUSTICE

■ 機関リポジトリ推進委員会

→平28.7「オープンアクセスリポジトリ推進協会」設立総会予定

■ これからの学術情報システム構築検討委員会

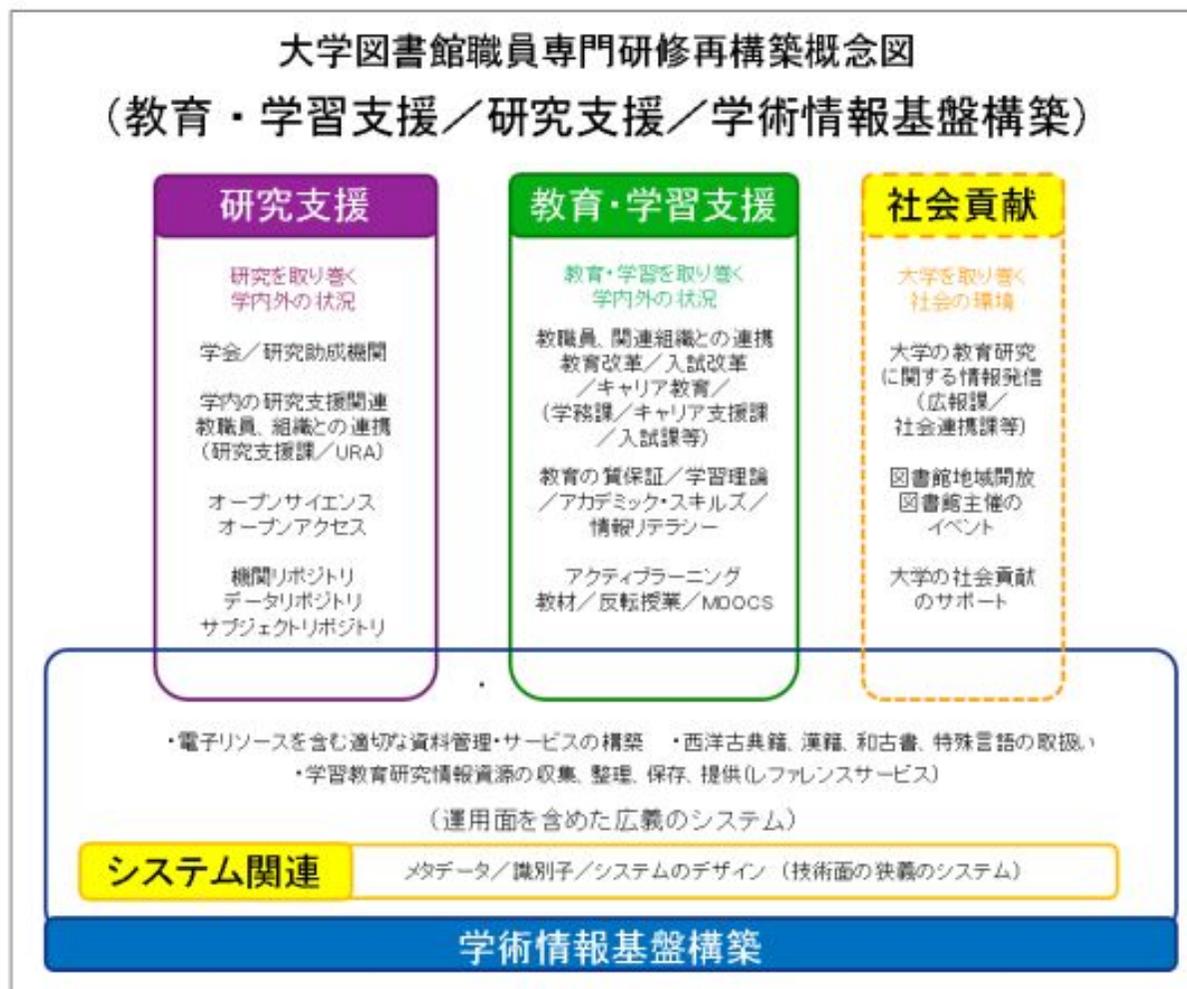
■ 全国的なコンソーシアム活動や関連する研修活動の 地域的な実施組織としての、近畿イニシアの可能性。



大学図書館職員研修の新たな動向

- 国公立大学図書館協力委員会 研修のあり方に関するワーキンググループ
『大学図書館職員の専門性と専門研修のあり方について(報告書)』(平27.12)
- これからの大学図書館の専門性と研修
- NII中心の研修事業から大学が主体的に
- NIIとのさらなる連携・協力

大学図書館職員の専門性



『大学図書館の整備について(審議のまとめ)』(平22科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)をもとに作成

- 各専門性の重要度・優先度は大学により異なる
 - ✓ 大学の特色
 - ✓ 機能分化、自らミッションを定める

- 研修の方向性
 - ✓ 安定的・継続的な業務にかかるもの
 - ✓ 変化に対応した新しい枠組みの構築に資するもの

- 限られた資源(財源、人材、etc.)
 - ✓ 業務委託の進行、現場での能力開発の困難さ
 - ✓ 人材の集約化と高度化

今後、検討されるべきこと

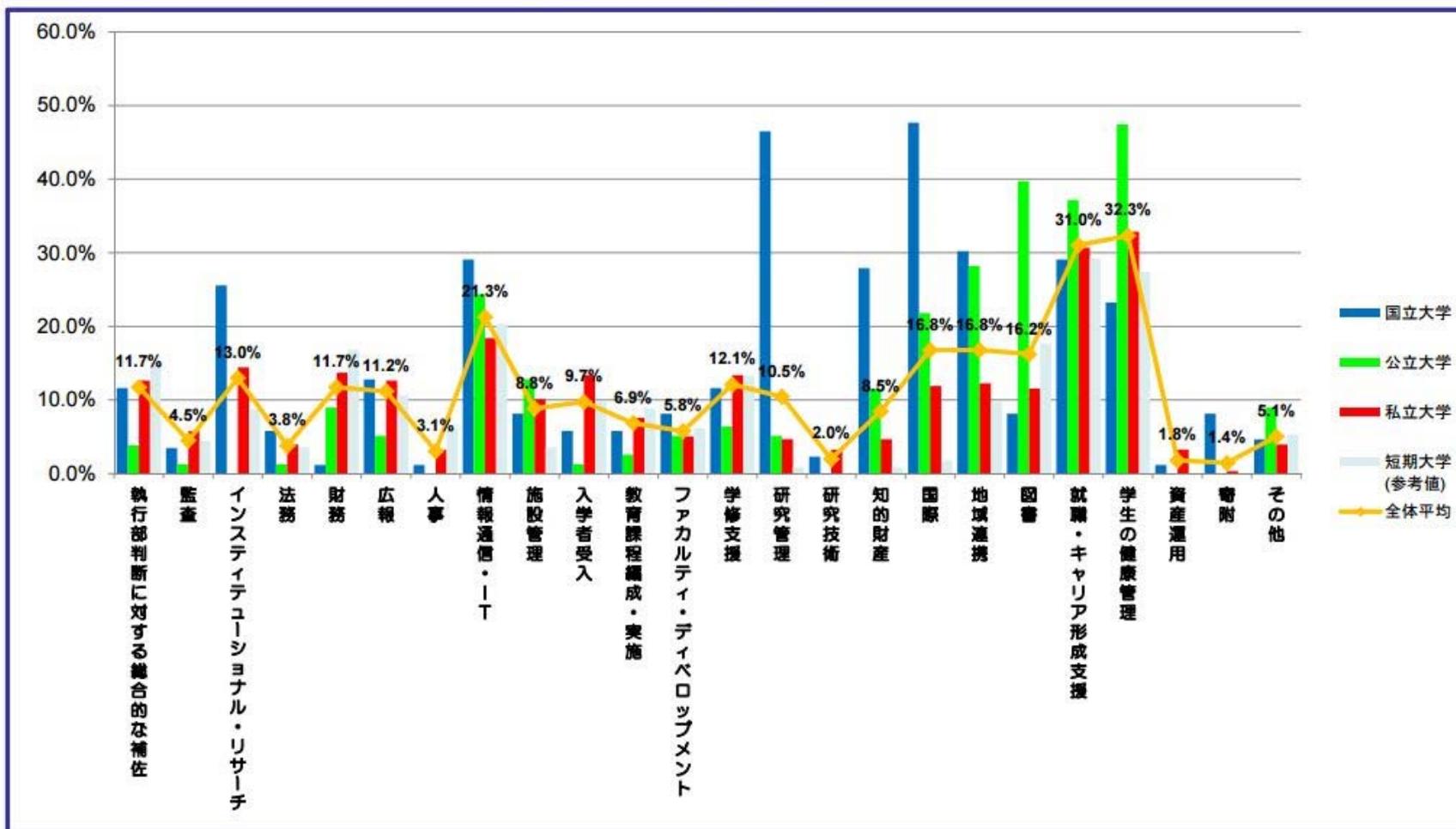
- 大学図書館職員の専門性について捉え直す
- 研修は人材育成の手段としては一部を担えるに過ぎない

研修を受けることで、
大学図書館の働きはどう変わったか、どう改善されたか

大学図書館の働きによって、
学生や教職員に良いもの(こと)があったか

■ 現在配置していて特に重要と考える専門的職員

- 全体平均においては、現在配置していて特に重要と考える職務の上位として「学生の健康管理」「就職・キャリア形成支援」等の学生支援系、「情報通信・IT」があがっている
- ただし、設置主体別によって、重視する職務には差異が認められる



出典：文部科学省「大学における専門的職員の活用実態把握に関する調査」